大規模事業評価の答申への対応方針について

令和7年6月10日に岩手県政策評価委員会に諮問し、同年9月12日に答申を受けた大規模事業の事前評価及び再評価について、次のとおり対応方針を決定しましたのでお知らせします。

1 対応方針

(1) 事前評価

- ・「中山の園整備事業（滝沢市、一戸町）」（保健福祉部所管）

答申において評価内容が妥当と認められたことから、事業を実施する。

(2) 再評価

- ・「徳田橋地域連携道路整備事業（地域密着型）（盛岡市、矢巾町）」（県土整備部所管）

答申において評価内容が妥当と認められたことから、事業を継続する。

なお、今後の事業実施に当たっては、一層のコスト縮減に努めるとともに、事業の早期完了を目指す。

- ・「木賊川広域河川改修事業（盛岡市、滝沢市）」（県土整備部所管）

答申において評価内容が妥当と認められたことから、事業を継続する。

なお、今後の事業実施に当たっては、一層のコスト縮減に努めるとともに、事業効果の早期発現を目指す。

- ・「北上川（上流）広域河川改修事業（岩手町）」（県土整備部所管）

答申において評価内容が妥当と認められたことから、事業を継続する。

なお、今後の事業実施に当たっては、一層のコスト縮減に努めるとともに、事業効果の早期発現を目指す。

- ・「気仙川広域河川改修事業（陸前高田市、住田町）」（県土整備部所管）

答申において評価内容が妥当と認められたことから、事業を継続する。

なお、今後の事業実施に当たっては、一層のコスト縮減に努めるとともに、事業効果の早期発現を目指す。

2 【参考】岩手県大規模事業評価専門委員会における審議経過

- ・ 令和7年6月16日 第1回専門委員会（諮問審議）
- ・ 令和7年7月14日 第2回専門委員会（現地調査）
- ・ 令和7年8月22日 第3回専門委員会（継続審議・答申案の検討）

保健福祉部・県土整備部

大規模事業評価の答申への対応方針（令和7年6月10日付けで諮問したもの）

内 容	対応方針
<p>令和7年6月10日付け政第40号で諮問のあった大規模施設整備事業の事前評価及び大規模公共事業の再評価について、次のとおり答申します。</p> <p style="text-align: center;">記</p>	
<p>1 大規模施設整備事業の事前評価</p> <p>(1) 中山の園整備事業（滝沢市、一戸町）</p> <p>【審議結果】</p> <p>「事業実施」とした県の評価は妥当と認められる。</p>	<p>《保健福祉部》</p> <p>答申において評価内容が妥当と認められたことから、事業を実施する。</p>
<p>2 大規模公共事業の再評価</p> <p>(1) 徳田橋地域連携道路整備事業（地域密着型）（盛岡市、矢巾町）</p> <p>【審議結果】</p> <p>「事業継続」とした県の評価は妥当と認められる。</p>	<p>《県土整備部》</p> <p>答申において評価内容が妥当と認められたことから、事業を継続する。</p> <p>なお、今後の事業実施に当たっては、一層のコスト縮減に努めるとともに、事業の早期完了を目指す。</p>
<p>(2) 木賊川広域河川改修事業（盛岡市、滝沢市）</p> <p>【審議結果】</p> <p>「事業継続」とした県の評価は妥当と認められる。</p>	<p>《県土整備部》</p> <p>答申において評価内容が妥当と認められたことから、事業を継続する。</p> <p>なお、今後の事業実施に当たっては、一層のコスト縮減に努めるとともに、事業効果の早期発現を目指す。</p>
<p>(3) 北上川（上流）広域河川改修事業（岩手町）</p> <p>【審議結果】</p> <p>「事業継続」とした県の評価は妥当と認められる。</p>	<p>《県土整備部》</p> <p>答申において評価内容が妥当と認められたことから、事業を継続する。</p> <p>なお、今後の事業実施に当たっては、一層のコスト縮減に努めるとともに、事業効果の早期発現を目指す。</p>
<p>(4) 気仙川広域河川改修事業（陸前高田市、住田町）</p> <p>【審議結果】</p> <p>「事業継続」とした県の評価は妥当と認められる。</p>	<p>《県土整備部》</p> <p>答申において評価内容が妥当と認められたことから、事業を継続する。</p> <p>なお、今後の事業実施に当たっては、一層のコスト縮減に努めるとともに、事業効果の早期発現を目指す。</p>